

砂と街と...

砂は、果てしなく旅をつづける。
風が吹かれ、波に洗われ、緑を育みながら、
街の営みを見つめている。

何物にもとらわれることなく、
自由自在に形を変えながら、
確かな存在感をもつ、砂。
砂が息づく街は、幸福だ。

ふと、街を歩き交う人に、
砂の表情を見るとき、心は、
その奔放さに憧れているのかもしれない。

ふと、街で砂の音を聞くと、
人は、その幸福な記憶を
たどっているのかもしれない。

空へ。海へ。そして、人へ。
限りなくつづく砂と街の旅。
砂に恋する街は、幸福だ。



舟越 桂

- 1951 岩手県盛岡市に生まれる
- 1975 東京造形大学彫刻科卒業
- 1977 東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻終了
- 1985-86, 89-90 東京芸術大学彫刻科で教える(非常勤講師)
- 1985, 89, 90 西村画廊で個展
- 1986-87 文化庁芸術家在外研修員として1年間ロンドンに滞在
- 1988 第43回ヴェニス・ビエンナーレに出品
- 1989 第2回サンパウロ・ビエンナーレに出品
- 「アゲインスト・ネイチャー」(サンフランシスコ近代美術館他)に出品(〜31 2月)
- アーノルド・ハースタット画廊(N.Y.)で個展
- 1989- 東京造形大学彫刻科で教える
- 1990 サンフランシスコとロス・アンゼルスにてエッチングを制作「80年代日本現代美術展」(フランクフルト、クンストフェライン他)に出品(〜31 8月)
- 東京に住む

左から砂と街と、海へ行く日、異国の街